

# 全長27 mの色鮮やかなLEDディスプレイが ゲストに驚きを与え、体験価値を高める。



## パナソニック コーポレートショウルーム

導入地域：首都圏  
導入期間：2025年6月

### 課題

映像コンテンツを使った事業紹介の中で、ただ動画を視聴するだけではない付加価値を提供したい

### 解決策

複数枚を組み合わせてつなぎ目のない大画面を構築できるオールインワンLEDディスプレイにより、観る人に驚きと感動を与える映像表現を実現

“お客様から「まるで映画を観ているようだ」とお褒めの言葉をいただきました。”

パナソニック  
オペレーショナルエクセレンス株式会社  
ブランドプラットフォームセンター  
コーポレートショウルーム推進室 室長  
児玉 比佐子 氏

※所属は取材時のものです。

### 背景

#### 東京に新たなコーポレートショウルームをオープン

2025年6月にパナソニック東京汐留ビルの中にオープンした「パナソニックコーポレートショウルーム」。パナソニックグループが描く未来社会と、その実現に向けたソリューションを紹介するこのショウルームには、空間を贅沢に使った映像体験ルーム「プレゼンテーションミュージアム&ステージ」が設けられています。ここでは、専属のアテンダントがゲストとのコミュニケーションを図りながら映像に合わせてプレゼンテーションを進行していきます。ステージには、壁一面を埋め尽くす巨大なディスプレイを設置。ディスプレイパネルを連結して自由にサイズ設定が可能なオールインワンLEDディスプレイ「ADシリーズ」が活用されています。

### 導入した理由

#### 自由なサイズ展開と、明るく鮮明な映像品質

LEDディスプレイを採用した経緯について、コーポレートショウルーム推進室の児玉氏は、「LEDの最大の特長は、室内が明るくても見やすく鮮明な画質が得られる点だと思っています。また、本製品は連結式なので、空間に合わせて思い通りのサイズを構築できます。今回は横11台×縦2台を組み合わせ、幅27 mの巨大なディスプレイを実現しました。ショウルームでは、どれだけお客様の心に強く印象付けるかが重要となりますので、このディスプレイなら圧倒的なインパクトを提供できると考え、採用を決めました」と語ります。

### 理想の社会をお客様とともに実現していく

パナソニックグループは1918年の創業以来、「物と心が共に豊かな理想の社会の実現」を目指して、さまざまな事業に取り組んできました。今回オープンしたショウルームでは「社会とくらしのウェルビーイング」と「地球環境問題の解決」に貢献する最新の事例やアイデアをご紹介します。パナソニックグループのこれからの事業の方向性を体感できる場として活用されています。

- 所在地：東京都港区東新橋1丁目5番1号 パナソニック東京汐留ビル1階
- 見学方法：パナソニックグループの社員を通じた事前予約制



# オールインワン LED ディスプレイ



▲ 全長27 mの巨大なLEDディスプレイが、来場したお客様に驚きを与える



▲ アテンダントによるプレゼンテーションでは、アテンダントが手にする端末を使って映像を操作



▲ 全画面を使ったコンセプト映像は高い没入感をもたらし、ブランドイメージの向上に貢献した



▲ 軽量・薄型設計のため、バックヤードのスペースを圧迫することなく設置可能



▲ ラックにはコントロールボックスをまとめて格納



▲ ゲストルームには環境に配慮した10,000 lmの3チップDLP\*プロジェクターを設置



▲ 短い投写距離で映写可能な超短焦点レンズを装着したプロジェクターPT-RQ13KJ

## 導入後の効果

### 空間を包み込む、新感覚の没入体験

LEDディスプレイを設置した効果について、児玉氏は次のように語ります。

「実際に映像を表示した時、そのダイナミックさと圧倒的な迫力を肌で感じ、LEDを選択して良かったと実感しました。また、お客様とコミュニケーションを取りながら進行するステージ演出において、アテンダントがディスプレイの目の前に立っても影や映り込みが出ず、コンテンツの魅力を存分に味わっていた点は大きなメリットだと感じました。おかげで、空間全体を使ってお客様を惹きつけるプレゼンテーションが実施できています。実際に来館されたお客様は、このステージをひと目見るなり驚きの声を上げられていますし、『まるで映画を観ているようだ』という褒めの言葉もいただきました」

## 担当者の声

### 映像を視聴するのではなく、ともに体験する場に


「今回のような大規模な映像演出は、ビジネス向けの実務的なコンテンツを扱う中で“驚き”や“面白味”という付加価値を生み出すことができ、ショールームの印象を大きく変えるものとなりました。造作物ではなく映像をメインにしたショールームづくりは私どもとしても新たな試みでしたが、映像コンテンツは造作物と違ってリニューアルが容易なため、お客様が何度来ても楽しめる場として今後も成長させることができると思います。これからも、このLEDディスプレイの臨場感を活かしながら、まだ見ぬ新しいコンテンツ制作に取り組んでいきたいです。また、インタラクティブ性を上げていくなど新たな演出にも挑戦していけたらと考えています」



**パナソニック  
オペレーションエクセレンス  
株式会社**  
ブランドプラットフォームセンター  
コーポレートショールーム推進室  
室長 児玉 比佐子 氏

※所属は取材時のものです。

納入機器



オールインワンLEDディスプレイ  
ADシリーズ  
**TL-110AD12AJ (110型) × 22台**

ADシリーズは、ディスプレイパネルやコントロールボックス、電源ボックス、設置金具がセットになった、映像表示に必要な機器が一体化されているオールインワンタイプのLEDディスプレイです。

※オールインワンLEDディスプレイは本事例のように複数台組み合わせることで使用することが可能です。複数台組み合わせる場合には、パナソニック業務用ディスプレイサポートセンターにお問い合わせください。 <https://lp.jpn.biz.panasonic.com/prodisplays-inquiry-form.html>

